

議事録				
例会・委員会名	7 月	青年	委員会	記録者
会場	ふれあい会館407	日時	平成22年 7月13日 (火)	19:00 ~ 21:00
出席者	青年委員	横井副会長 森 伊縫 松井 大石 田神 山野 河尻 村瀬 松岡 吉田 神山 内田 坂崎 松原 (瓦葺組合) 林 (瓦葺組合) (敬称略)		
	女性委員			
議事内容				
1	<p>広報について (山野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページのブログは基本的に山野さんがアップする。</li> <li>・ 文章と写真はメールで山野さんに送る。</li> <li>・ 「しよまいか」 は来月出す予定。</li> </ul>			
2	<p>研修について</p> <p>■文化講演会 (内田)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポスターが6月末に完成。各担当者は配布をお願いします。</li> <li>・ 申し込みは建築士会のホームページから登録可能となっている。</li> <li>・ 現在インターネットからの申し込みは50名程度。</li> <li>・ 別紙にて当日スケジュールを確認。</li> <li>・ 役割の照明・音響は不要。</li> <li>・ 役割分担は毎年同じ担当者だが年毎に変えた方がいいのではないかと。</li> <li>・ 先生への質問をメールで募集しているがまだない。</li> <li>・ 先生の書籍出版はお釣りの管理や残りの返送などで手間がかかるので、段取りの確認が必要。領収証は先生で準備して頂く。</li> <li>・ 建築士会 PR 用のパンフレット、「しよまいか」、CPD 機器、はっぴ、PR パネルの準備を事務局に依頼しておく必要あり。</li> <li>・ 当日の冒頭で青年委員会の PR スライドショーを流してアナウンスをする。昨年のデータは岩田さん、活動写真は山野さんが持っている。</li> <li>・ アンケートの内容について・・・</li> <li>・ 懇親会の参加者は基本的に青年委員中心だが、青年委員の知人も OK とする。</li> <li>・ 去年の昼食はお茶や照明などの事前準備ができていなかったのが注意が必要。</li> <li>・ 先生の宿泊先チェックインのタイミングを確認して懇親会との時間の調整が必要。</li> <li>・ 宿泊先は先生が直接手配される。</li> </ul> <p>■研修会 (松岡)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 希望の内容が有ればお知らせください。</li> </ul>			
3	<p>実践活動について (河尻)</p> <p>■小鳥の大工さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年のオータムフェアへの参加は10月17日(日)の予定。開催日は河尻さんが確認する。</li> <li>・ 今年も巣箱50個、瓦50個の計画。</li> </ul> <p>■イートマップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在ホームページにアップしているのは8件。</li> <li>・ 今月中に各自の新たな取材先を河尻さんへメールすること。</li> <li>・ 再来月の例会までに各自取材を行うこと。</li> <li>・ 取材先へのホームページ掲載内容の確認は山野さんからの掲載フォームを貰ってそれで行う</li> </ul>			
4	<p>交流について (村瀬)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別紙にてBBQの手配担当を確認。</li> <li>・ 納涼会 7月30日(金)19:00~の予定。場所は岐阜シティータワー43で調整予定。</li> </ul>			
5	<p>渉外について</p> <p>■勧誘 (坂崎)</p>			

- ・ 建築士の日フェスティバルへの電話勧誘の際、会社的に建築士会活動への参加NGというところが有った。
  - ・ 公益法人化にともない、建築士会や公益法人化についての説明会をしてもらい、そこに来てもらってはどうか。
- 後期ブロック大会（伊縫）
- ・ ブロック協議会は、前期大会の代わりに運営委員研修会を行うという案になっている。
  - ・ 後期大会の1日目の会場は高山グリーンホテルに変更。
  - ・ 宿泊先は予定通りカントリーホテルとプラザホテル。2日目の会場はコンベンションビュロー。
  - ・ 分科会の内容は次回の例会で決めるが、高山の人の意見も反映させて決めたい。
  - ・ 分科会内容は実質的には2つを決めて、岐阜県とブロック協議会に振り分けて行う。
  - ・ 例会外で8月に後期大会の打ち合わせを行いたいので、メーリングリストで連絡する。
  - ・ 後期大会でブロック各県会長さん全員に来賓依頼を藤井会長から出してもらってはどうか。
  - ・ 高山市長にも高山支部から参加の依頼をする。

- 7 その他
- ・ 先日、委員長・副委員長会議があり、建築士会からの情報連絡手段についてメール登録の手続きのお願いがあったので、各自手続きをお願いします。
  - ・ 佐賀全国大会への参加費補助は5000円/人で決定。
  - ・ 今後、出張に関しては2名までとなった。
  - ・ 講師の交通費に関しても算出方法の規定が出来た。
  - ・ 秋の公益法人化に向けて、建築士会の活動内容は不特定多数に向けたものになる。現在の青年委員会の活動はほぼそれにあたる。
  - ・ 情報センターからの助成金を活用可能。
  - ・ 文化講演会などCPDの認定申込みは申請書の事前提出が必要。

- 8 建築士の日について反省会
- ・ 無事終わり成功したが、反省点は次の機会にいかしたい。（横井）
  - ・ 支部の日はあったが参加人数が少なかった。講師依頼して人数が少ないのは失礼であった。
  - ・ 広報が出来ておらず、認知度が低かった。特に学生や一般の方向けが出来ていなかった。
  - ・ 根本的に士会会員全体の意識がなければやる意味が無いのでは。
  - ・ 開催期間は長すぎる。
  - ・ イベントを活発にするのであれば、日程を分担して支部で責任をもってやってもらった方がいい。支部は今回参加に来るだけだった。
  - ・ どこにどれだけ宣伝するかが大切だが、結局どこへも宣伝していないので人がくるはずはない。
  - ・ 誰がトップでどこに意見を言えばいいのか不明であった。
  - ・ 青年が招集された時にはすでに方向性が決められていて、青年に意見を求められなかったが、講座の実行は全部青年にまかせっきりのようだった。
  - ・ 士会の中で開催意識に温度差がある。
  - ・ 会長がこの建築士の日をどの様に考えられていたのか聞きたい。
  - ・ 今回は成功ではないと思っている。
  - ・ 来年の建築士の日フェスティバルは総務委員会の所管となる。
  - ・ 総務委員会ではなく事業部会がやるべきことではないか。
  - ・ 身内だけのイベントなら開催する意味が無い。社会に対してアピールする場にしたいが、現状は出来ていない。
  - ・ 支部に動員をかけても一般の人にアピールできるのは開催地域の支部だけなので、他地域にメリットが無く、結局は意識が低下してしまう。
  - ・ 企画が動き出した元の話がよく分からない。
  - ・ 話しが常が変わって振り回された感じ
  - ・ 長い期間でいろんなことをいっぺんにやったのでまとまらなかった。

- ・ 期間は短くても長期ビジョンでやっていく方がよい。
- ・ 有る程度は的を絞らないといけない。
- ・ 初日は意外に集まったが、土曜日は少なく、講師に申し訳なかった。
- ・ ブースのメーカーの方にほとんどメリットが無かった5日間だったと思う。
- ・ スペース計画やスケジュール調整など全てにおいて準備不足だった。
- ・ 士会としての目的の意思統一がされていなかったのではないか。
- ・ 物事の決定のプロセスが分からなかった。
- ・ 意見を出して成功に向けて企画を組み立てる場が見えなかった。
- ・ 内向きのイベントならあの場所でもよいが、一般向けなら場所は考えた方がいい。
- ・ 初めてのイベントを行って少なからず市民へのアピールは出来たと思う。
- ・ こういう機会を設けてもらったのは良かった。
- ・ 期間は長くて辛かった。短期間に集中させた方が長く続くイベントになると思う。
- ・ 興味のある講座に出られたので、参加者にとってはそれだけでも有意義だったと思う。
- ・ 時間の枠を埋めるがための講師の人選があったのではないか。
- ・ 主催者側と講師との目的意識の共有が出来ていなかった。
- ・ 建築士の日としてテーマをもって方向性を決めたらまとまりがでるのではないか。
- ・ こういう活動はやらないよりはやった方がいい。
- ・ 今回の反省を踏まえて来年も続けてもらいたい。
- ・ 成功、失敗をこの時点で決めず、この事業を続けて一般の方に知ってもらうことが大事だと思う。
- ・ 地域防災の講演に参加された方は喜んで見えて、他に人を誘えばよかったと言われた。
- ・ 来年も続けるなら支部の協力、士会員個々の協力が必要。
- ・ 講座の内容はいいものばかりだったと思うが、士会員ですら認知してなかった。
- ・ 岐阜で駐車場が無いのはマイナス。
- ・ 目的に芯が通っていなかった。いろいろ目的を定めるなら日程ごとに替えるなどの旗振りを誰かがしなくてはいけない。
- ・ 5年後に成功すれば、今回の成功失敗の議論は必要ないと思う。
- ・ やったことがないものは分からない。来年は今年が基準になるのでやった意味はある。
- ・ イベントに失敗、成功は無いと思うが、士会員個々の思いが失敗だったと思う。
- ・ 押しつけのイベントは駄目で、みんながやろうというイベントでなくてはいけない。
- ・ 建築士は凄いという一般の方の意見も頂けた一方、一般人には難しいという意見もあった。
- ・ やってみて楽しかったという意識で支部の人が出てきてくれる企画にすることが必要。
- ・ 押しつけではなく一緒にやろうという姿勢を上也持つので協力してほしい。
- ・ 有意義なものにする為には各委員会のコラボレーションが必要。
- ・ 全体の総括は取りまとめられるのか。
- ・ 予算計画と会計報告を知りたい。



(写真) 例会の様子